

# 広域災害対応型クラウド基盤構築に向けた研究開発

## 1 施策の概要

クラウドサービスの急速な普及を背景に、中小を含む複数のクラウドが高度に連携し、ネットワーク全体の省電力化を図りつつ、行政、防災等の社会インフラ等のサービスが実現可能な高信頼・高品質なクラウドサービスを提供するためのネットワーク制御技術の確立を目指す。

東日本大震災においては、従来にない広域においてデータセンター、通信ネットワークが甚大な被害を受けたところであり、今後予期しない広域災害や大規模停電によりシステムがダウンした場合は、企業や地方公共団体の情報システムに深刻な影響を与えることになる。こうした課題に対応するため、本研究開発により、広域災害発生時や大規模停電時においても、異常を検知次第、全国の他のクラウドの待機設備の空き状況、当該クラウドとの間の通信回線の状況等に基づき、最適な通信経路で複数クラウド間を瞬時に連携させ、重要データを待避させつつ処理を円滑に継続するクラウドサービスを実現する。

## 2 イメージ図

